

建設業界で活躍する

# 寅男寅女

2022年は十干が9番目の「壬（みずのえ）」、十二支が3番目の十二支「寅（とら）」、干支（えと）は「壬寅（みずのえとら）」。古代中国の陰陽五行説によると、「『壬』は妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」「『寅』は蟻（ミミズ）に通じ、春の草木が生ずる」という、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージだ。つまり、コロナ禍を乗り越え、新たな生活様式、新たな労働環境の下、日本全体が成長していく……年頭に当たりそんな1年を思い描けるのではないだろうか。

一方、寅年生まれの方は、虎のイメージ通り、「エネルギッシュ」「逆境に強い」「チャレンジ精神旺盛」「完璧主義」といった特徴を持つという。三河が誇る英雄・徳川家康、越後の虎・上杉謙信も寅年生まれ。そこで今年の干支にちなみ建設業界で活躍する「寅男」「寅女」に登場いただき、仕事やプライベートでチャレンジしていること、目標などを聞いた。

## 楽しみながらリサイクル促進

資料作成や講師など多忙な日々



泥土リサイクル協会（稲沢市）

にしかわ みほ  
**西川 美穂さん**

協会発足当初は派遣事務員として働きはじめたが、「何事も楽しくなければ続かない」と一念発起。総合職として

会員であるゼネコンやメーカー企業と協力し、泥土リサイクルの促進に向けた地道な活動を丹念に続けてきた。2019年に国立環境研究所から発行された「再生石膏粉の有効ガイドライン」は、自身が策定委員会事務局の中心となって作成に取り組んだ。積み重ねた経験と知識を、いかにして今後の協会運営に生かすかも期待される所だ。昨年8月、泥土リサイクルの問題と課題点をまとめた啓発図書を作成・発行した。今月は石こうボードの取り扱いに関する講演が控えるなど、多忙な日々が続く。一方、休日は趣味のフラに没頭。めりはりも忘れない。

明るくポジティブという寅年生まれの特徴を生かし、「泥土リサイクルの質を向上させ、全ての建設現場への浸透を図りたい」。あくまでも、楽しく、前向きに。



Private 趣味のフラの衣装で